



「実写コンテンツの製作人材の育成研修
ー世界基準のショーランナー&ドラマクリエイター育成ー」



ハリウッドで学ぶ!世界基準のドラマ・ショーランナー集中研修 公募要領

2025 年 9 月 3 日公開

2025 年 9 月 12 日更新

【注意事項】

※本研修の内容は更新される場合があります。応募前に、公募サイトを確認し、最新の公募要領を参照のうえ応募してください。

「ハリウッドで学ぶ!世界基準のドラマ・ショーランナー集中研修」(以下、本研修)では、世界水準の高品質な放送コンテンツ製作をけん引する意欲のある方に、ハリウッド(米国)における放送コンテンツの製作プロセスを確認し、世界的に競争力のある日本の実写コンテンツ¹を創出していくために必要な要素を体感していただきます。また、企画プレゼン研修などを通じて、海外で流通するコンテンツをプロデュースできる人材となるために必要なノウハウの一端を学んでいただけるプログラムをご提供いたします。

本研修は総務省「放送コンテンツの海外展開に向けた人材育成に係る調査研究の請負」の一環として、「実写コンテンツの製作人材の育成研修ー世界基準のショーランナー&ドラマクリエイター育成ー」事務局の株式会社三菱総合研究所(以下、事務局)から本研修の実施を委託された STORIES INTERNATIONAL, INC.(以下、研修機関)が研修の企画立案や講師のコーディネートを実施しています。

1. プログラムの内容

本研修は、「(1) 事前学習」「(2) 実地研修」で構成されます。

(1) 事前学習(プレセミナー)

現地での研修が参加者にとって大きな学びとなるよう、渡航前に研修参加決定者に対して事前準備のためのセミナーを実施します。

- 開催日程:2025 年 10 月 21 日(火) 17:00~19:00(終了後、懇親会を開催予定)
- 開催場所:STORIES スタジオ(東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル 1F)
- 学習内容・講師:

STORIES INTERNATIONAL, INC President and CEO 鈴木 智也氏より以下を講義予定です。

項目	内容
米国映像産業 市場概論	● 映像産業の歴史 ● 映像産業の市場 ● 映像産業プレイヤーと競争環境
企画ピッチ概論	● TV フォーマットの企画書の基本形 ● ロートピッチはどのように行われるか

¹ 放送・配信(ユーザ投稿型動画共有サービスは除く)を前提とした実写コンテンツ

と事前準備	● 米国研修に向けての事前課題と準備について
-------	------------------------

- 留意事項
 - 事前研修の後、研修会場周辺で懇親会を開催予定
 - 「企画ピッチ概論と事前準備」では、「3.(2)応募書類」でご提出いただく企画案を活用予定です。

(2) 実地研修

ハリウッド(米国)にて、座学及びワークショップ、撮影スタジオ訪問等を組み合わせた研修を行います。研修を通じて企画案をブラッシュアップいただき、最終日にはその企画案をピッチしていただきます。

なお、全編通訳(逐次想定)を入れる予定です。

- 開催日程:2025年11月3日(月)~6日(木)(現地時間) ※予備11月7日(金)
- 開催場所:Culver City, Hollywood など
- 研修内容

日程		内容	
DAY1	AM	テレビフォーマット概論	● ハリウッド発の放送コンテンツ(テレビフォーマット)の類型と、企画~制作~配信・放送の流れを理解する
		ストーリーテリング	● テレビフォーマットのメインコンテンツである、連続ドラマのストーリーフォーマットを理解する ● 併せて、ノンスク립テッドとされるリアリティーショーやドキュメンタリー、コメディなどの種別を理解する
	PM	企画書とピッチ	● 企画の作り方、売り方を意識して、連続テレビドラマの企画書の作り方、シーズン構成を理解する
DAY2	AM	予算	● 脚本を分析し、予算・スケジュールに落とし込む工程を理解する
		スケジュール	● 脚本の各シーンに必要な人物・設備・道具等に応じて最適なスケジュールを組む演習を行い、米国のドラマコンテンツ制作のスケール感を実践的に理解する
	PM	スタジオ見学	● メジャースタジオや可能であれば実際の撮影現場などを見学する
DAY3	AM	企画書ピッチ作成ガイド	● 事前学習で作成した、自身が海外に展開したいコンテンツの企画書をもとに、ブラッシュアップする方法を知る
		エージェンシーについて	● 米国と日本のタレントエージェント・マネジメントの違いを理解する
	PM	リアリティーショー・コメディー (or ワークショップ)	● ノンスク립テッドフォーマット(リアリティーショー・コンテスト)や、コメディにおけるストーリーテリングの違いを理解する
DAY4	AM	ワークショップ (企画ブラッシュアップ)	● 講義を踏まえ、実際に企画書をブラッシュアップする
	PM	ピッチコンテスト	● 各自が企画をピッチする
		講評	● 企画ピッチに対する講評を受ける

- 留意事項
 - 参加者は研修開始前日までに指定の場所までお越しください(現地集合、現地解散なので、前後の日程に他の予定を入れていただいても結構です。なお、事務局が指定する時間に空港で集合いただければ、事務局が手配した交通手段でホテルまで移動可能です)。
 - 集合時間、場所等については、参加予定者に対し個別にご案内いたします。

- 研修期間中は本研修に集中できるよう、業務等を調整してご参加ください。

2. 対象者

国内の放送事業者、番組製作会社等に勤務しているドラマのプロデューサーやディレクターのうち、以下の要件を満たす方を対象とします。

- ドラマの企画案を持ち、企画立案・プロデュース能力に優れている方
- 英語力は不問だが、英語でのカリキュラムに抵抗なく取り組める方（全編逐次通訳を入れる予定）
- 「Ⅰ.（Ⅰ）事前学習」「Ⅰ.（Ⅱ）実地研修」に業務等を調整して参加できる方（一部参加できないなど事情がある場合には応募時にあらかじめその旨事務局に連絡すること）

3. 応募方法

（Ⅰ）応募受付期間

2025 年 9 月 3 日（水）～2025 年 10 月 2 日（木）17:00 締切（メール必着）

（Ⅱ）応募書類

以下の書類一式をデジタルデータにて作成してください。

#	書類	概要
1	申請書兼本人承諾書	● 公募サイトに掲載している指定様式に記入したもの
2	パーソナルインフォメーション	● 自己紹介資料として、ご経歴・作品などを記載してください ● 様式自由、A4 縦 1 ページ以内
3	パーソナルステートメント	● 研修への参加動機を記載してください ● 様式自由、A4 縦 1 ページ以内（1,200 字以内）
4	企画案	● 海外市場（主として米国テレビ局・OTT プラットフォーマーを経由して（グローバル OTT の日本法人経由等ではなく）全世界で視聴されるコンテンツ）に受け入れられると考えられる企画案 【企画案に含む内容】 ➤ 企画概要（ログライン・ジャンル・フォーマット等） ➤ トリートメント（世界観・キャラクター・シノプシス・シーズン展開案（キービジュアル等）） ➤ プロデューサーステートメント（なぜこの企画をやりたいか？時代性・市場性・主観的熱意等） ● 様式自由、A4 4～8 ページ以内程度
5	所属組織上長の確認書*	● 公募サイトに掲載している指定様式に記入したもの

*「所属組織上長の確認書」の提出は任意です。

（Ⅲ）応募書類の提出先

株式会社三菱総合研究所 モビリティ・通信事業本部内
「実写コンテンツの製作人材の育成研修」事務局宛
E-mail:koubo-content-hrd@ml.mri.co.jp

- 応募の際は、メールの件名を必ず「実写コンテンツの製作人材の育成研修_米国派遣研修_応募」としてください。
- 持参、郵送、FAX 等による提出は受け付けません。書類に不備がある場合は、審査対象外となる場合がありますので、ご注意ください。
- 締切を過ぎてからの提出は受け付けません。
- 事務局にて受付完了した場合、受付後 1 営業日以内にメール返信にて一次応答をいたします。事務局からの一次応答がない場合、ファイルサイズ超過の可能性があるので、ファイル添付を行わずに平文メール

にてお問合せください。別途ファイル送付用URLをご案内いたします。

4. 選考方法

(1) 選考の体制

研修機関、総務省、事務局にて選考作業を行います。

(2) 選考の観点

以下の3つの観点から選考します。

- 能力(スキル):
 - 企画立案・プロデュース能力に優れている
 - 英語力は不問だが、英語でのカリキュラムに抵抗なく取り組める
- 実績(トラックレコード):
 - 一定のドラマ製作の実績(必ずしも人気作である必要は無い)があり、海外市場でのポテンシャルを持つドラマの企画案を持っている
- 野心(アンビション):
 - 決められたルールの枠内で上手く製作するだけでなく、必要であればルールの枠を越えてでも実現していく姿勢を持っている

(3) 選考の流れ

応募時の提出書類をもとに、応募要件を満たしているかどうかを確認したうえで、上記「選考の観点」から選考します。なお、選考のために応募者へのインタビューを実施する可能性があります。

(4) 選考結果の通知

選考結果は、応募時に登録いただいたメールアドレスにメールにて通知します。なお選考結果に関するお問い合わせには応じられません。

(5) 採用予定者数

10名程度

※キー局各社から推薦される最大5名を含む。

5. 留意事項

(1) 費用負担

- 参加費、現地での宿泊費・研修機関や事務局が手配した交通手段に係る交通費は無料です。宿泊場所は、事務局で確保したホテルに宿泊いただきます。
- 上記以外の費用(例:米国への往復航空運賃・日本国内移動旅費等)は参加者負担です。

(2) 研修参加に対する留意事項

- 研修期間中は、参加者・講師・関係者を尊重し、研修機関・講師の指示に従って行動してください。
- 研修期間中の行動・安全管理は、参加者ご自身の責任においてお願いいたします。米国への入国手続きや保険加入などはご自身の責任で対応してください。
- 米国への入国が許可されない場合、または渡航に支障が生じた場合でも、主催者は補償の義務を負

いません。

(3) 研修終了後の対応

- 本研修は総務省「放送コンテンツの海外展開に向けた人材育成に係る調査研究の請負」の一環で実施するため、研修参加者には研修機関や事務局が実施する調査（アンケート等）に協力いただきます。
- 研修終了後、実地研修の全日程に参加し基準を満たした研修者に対し、修了証を交付します。
- 2026 年 2 月末～3 月上旬を目途に、「実写コンテンツの製作人材の育成研修－世界基準のショーランナー&ドラマクリエイター育成－」の全プログラムの参加者・関係者を対象とした報告会を開催する予定です。本研修の参加者には可能な限り参加に協力いただきます。これに限らず、研修機関や事務局は、研修終了後も参加者同士のつながりを継続させたり次年度以降の研修生と交流したりする環境づくり等をします。研修参加者にはこの取り組みに協力いただきます。

(4) 研修内で用いるドラマの企画案及び情報の取扱い

- 各参加者はドラマの企画案を持ち込み、研修を通じてブラッシュアップしたうえで、最終日に全参加者の前でピッチをします。企画案が研修に参加する国内放送事業者や番組製作会社の目に触れることになるため、研修参加者には一定の守秘に対する誓約をしていただいたうえでご参加いただきます。
- なお、本研修を通じて、提案した内容に関連して、類似のプロジェクトが参加者および関係者によって実現する可能性もありますが、将来的に何かしらの問題が発生した場合においても研修機関・総務省・事務局が何かしらの損害賠償の責を負うことはありません。
- 研修において共有される情報のうち、講師が語る具体的なプロジェクトや事例に関する内容は、厳重に秘密として取り扱うようお願いいたします。一般的な知識や概論については言及可能ですが、事例の詳細や講師が明示的に公開しても良いとした情報以外は、外部への口外・SNS 投稿・二次利用を一切行わないでください。
- 本守秘義務は、研修終了後も継続して適用されますので、ご注意ください。

6. スケジュール(予定)

公募受付期間	2025 年 9 月 3 日(水)～2025 年 10 月 2 日(木) 17:00 締切
公募説明会	2025 年 9 月 3 日(水) 13:20～13:55 ※本研修の説明時間
選考期間	2025 年 10 月 3 日(金)～2025 年 10 月 10 日(金)
選考結果通知予定日	2025 年 10 月 14 日(火)
事前学習予定日	2025 年 10 月 21 日(火)
研修実施予定日	2025 年 11 月 3 日(月)～6 日(木)(現地時間) ※予備 11 月 7 日(金)

7. 問合せ

本事業への問い合わせは、下記フォームにて受け付けます。

<https://questant.jp/q/821DCKZ3>

以上